

第1回協議会の開催結果概要

- 開催日時 平成28年8月5日（金） 13:30～15:40
- 場 所 国保会館 5階大会議室
- 出 席 札幌市 長田委員、当別町 中出委員、夕張市 千葉委員
妹背牛町 廣田委員、函館市 横田委員、旭川市 山本委員
北見市 佐野委員、帯広市 櫻田委員、広域連合 向井委員
- 事務局 大居事務局長、鈴木保健事業担当係長、佐藤、半澤、佐々木、武藤
- オブザーバー 北海道、北海道国民健康保険団体連合会

○会議内容（要旨）

- 1 開会
- 2 事務局長挨拶
- 3 事務局職員紹介
- 4 委員紹介
- 5 議題

議事は協議会次第に沿って進行

- (1) 平成27年度 保健事業実施計画に基づく個別事業の評価について
各委員からの質問・意見なし

- (2) 「歯科健診事業」について

出席委員の市町で歯科健診を実施している2市から実施状況について発言あり。他の委員からの質問・意見なし

【A市】

- ・ 平成27年10月の意向調査時には、実施しないと回答したが、今年6月の定例議会で補正予算を計上し、7月1日付で広域連合と委託契約を行った。9月実施に向け準備を進めている。
- ・ 本市が実施する背景には、介護の現場のヘルパーや介護施設の職員などが、高齢者の口腔ケア、歯科健診に関心が高く、自主的に勉強会を行っていたこと、また、歯科医師会でも訪問指導の中で、高齢者の口腔ケアの重要性を認識していたなどがあげられる。
- ・ 本市では、昨年度から重複・多剤投薬者への訪問指導モデル事業を実施している関係から、薬剤師会の協力により、調剤薬局でポスターを掲示してもらっている。
- ・ 健診の実施については、今年度健診受診の記録を残し、来年度に引き継いでいくようにすることを検討している。
- ・ 若年層の歯科健診については、現在は実施しておらず、すぐに全市民を対象とするのは難しいが、例えば節目健診のような形で、後期高齢者の健診の事例を参考にしながら、検討していきたい。

【B市】

- ・ 後期高齢者の歯科健診は平成 20 年度から「歯科ドッグ」という名で、昨年度までは調整交付金を活用し、また、今年度からは広域連合と委託契約して実施している。
- ・ 本市は 1 人当たりの歯科の医療費が高く、人口比で歯科医院が多いということが背景にある。実施当たっては十勝歯科医師会に委託契約をしている。歯科医師会はとても熱心であり、調整に苦勞することはあまりなかった。
- ・ 被保険者 21,000 人に対して受診は 190 人くらいの見込みである。広報の 6 月号で国保、後期合せて周知した。また、ケーブルテレビ及び FM ラジオに市職員が出席して周知している。

6 報告事項

(1) 後期高齢者健康診査検討会の実施報告について

各委員からの質問・意見なし

(2) 平成 27 年度重複・頻回受診者訪問指導事業実施結果について

各委員からの質問・意見なし

7 その他の意見

【事業評価について】

- ・ 全ての事業に数値目標を設定したほうが後に評価をしやすいのではないかと考える。

8 オブザーバーからの意見

- ・ 若い世代での対策が重要である。北海道では肥満と喫煙が多いといわれているのでその対策が必要と考える。
- ・ 健康診査の受診率向上については、健診データの活用についても必要ではないか。
- ・ 広域連合の保健事業は、市町村職員に実施してもらうため、体制整備などが重要であると考ええる。評価シートの中に、ストラクチャー・プロセス評価の達成度がないが、次期にはこの点について、ご検討されるとよいと考える。
- ・ 高齢者の健康づくりを進めるには介護予防が重要であり、次期の計画では何らかの対策を立てたらよいのではないか。
- ・ 重複・頻回受診者訪問指導事業では、高齢者の不安の軽減が頻回受診や医療費の減少につながるのだと感じた。

9 閉会